**File10-2**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 食事調査計画に適した食事調査方法と注意点（誤差につながる要因と対処法）を記載する。 | | | | 以下は，企画者になって， 自由に考えてください |
| 企画者 | 想定ケース1  都道府県担当者 | 想定ケース2  糖尿病外来の管理栄養士 | 想定ケース3  食品会社の開発担当者 | 想定ケース4 |
| 調査目的 | 県の生活習慣病対策のために，県民の野菜果物摂取量を把握する。 | Ⅱ型糖尿病患者の食事指導のため，普段の食事の状況，特に炭水化物の摂取量のアセスメントを行う。 | 脂質の吸収を抑える新規機能性食品の効果を検証する無作為化比較試験において，食事からの脂質摂取量の前後の変化を調べる。 |  |
| アウトカム （得たい結果） | 県民の野菜果物の摂取量を国民健康栄養調査全国値，他県，および国の目標値と比較する。 | 各患者の普段の食事状況（食事・間食頻度）と平均的な1日の炭水化物摂取量を把握。初回診断時と2回目診療時を比較する。 | 過去1ヶ月の総脂質摂取量および脂質エネルギー比を，介入前後（６ヶ月間隔）で比較する。 |  |
| 対象者（人数） | 層化無作為抽出した10単位区の全世帯員 20歳以上男女各250名 | 1ヶ月の外来患者50名 | 100名 |  |
| 予算 | 対象者1名につき5千円，計125万円 | 対象者1名につき500円，計2.5万円 | 対象者1名につき500円，計5万円 |  |
| 食事調査法 |  |  |  |  |
| 注意点（誤差につながる要因と対処法） |  |  |  |  |